

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-2-3  
文化芸術の振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 文化国際課文化振興室長 柳樂ひとみ 電話番号 0852-22-6776

事務事業の名称	美術品等取得	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	優れた美術に触れる機会を提供する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民に優れた芸術文化に触れる機会を提供するため、美術品等収集方針に基づき県立美術館及び石見美術館の美術品及び美術資料等を取得する。</li> </ul>	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 美術品取得点数	目標値		15.0	15.0	15.0	15.0	点
		取組目標値						
	式・定義 取得点数	実績値	163.0	107.0				
		達成率	-	713.4	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	400	425
うち一般財源 (千円)	400	425

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 美術品等取得基金（定額基金）の現金残高は25百万円しかなく、平成22年度以降の購入は無し。
- 近年は寄贈のみによる取得となっている。
- 学芸員の人脈を活かした寄贈取得に取り組んでいる。
- 森英恵ファッション文化財団寄付金を活用し、平成28年度は服飾（ドレス）2点を購入。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

これまで築いた学芸員等の人脈により、平成28年度も多くの作品の寄贈があった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

購入による新たな美術品等取得ができない。  
県民が優れた芸術文化に触れる機会の減少に繋がる。

②困っている状況が発生している「原因」

美術品等の購入財源が不足（美術品等取得基金の現金残高が25百万円と僅少）

③原因を解消するための「課題」

中長期的な美術品取得費確保策を検討

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 中長期的な美術品取得費確保策を検討
- 学芸員等の人脈を活かした寄贈による美術品等取得の継続
- 審査会で美術品等の収集の適否、評価を受けることにより、美術館の収蔵品として適正なものを円滑に収集